

藤田議員の一般質問その2



マイナカードのトラブルと米原市DX計画を問う

米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党米原市会議員
藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

6月定例会での藤田議員の一般質問2です。ページ最後に掲載しているQRコードで、一般質問録画が見られます。是非ご覧ください。

問、マイナカードのトラブルの認識は

答、現在、本市においてはマイナンバーカードでの健康保険証等との紐付けにおいて、他人の情報が誤って登録されるといった問題は発生しておりません。なお、マイナ保険証での資格確認ができなかった事例については、社会保険証の情報を管理している健康保険組合など医療保険者のデータ登録等による不備が要因と考えられました。

問、DX推進方針は大丈夫か

答、本市としましては、米原市DX推進方針にマイナンバーカードの利用拡大を掲げ、本市独自による新たな活用方法の検討を進めています。が、マイナンバーカードの利用に当たって市民の不安や懸念もあると承知しております。このため、情報セキュリティやプライバシーの保護などの重要性を考慮し適切な処置を講じた上で、デジタルの強みを生かした、特に市民に身近な課題の解決や利便性の向上にマイナンバーカードを活用していきたいと考えています。

問、メリットの見える化を

答、市DX推進方針では、デジタルを最大限活用することで、従来以上に市民生活の利便性を向上させられるよう、その推進を通じて職員が携わる業務オペレーションの簡素化やデジタルで業務を完結させることを目指しています。しかしながら、新たなデジタルによる手続きに加えて、デジタル化が一手には進まないことにより、従来からの手続

きを当面継続して提供するための一時的な業務の増加もあり、財政的な効果を即時に現すことは困難な状況です。このため、今後の取組においては、事業の効果を数値化することで適切な事業評価ができるよう、その手法も含め検討してまいります。

問、危険性の周知を

答、今年度のスマホ講習会では、SNSの利用時の注意事項やプライバシー保護の重要性、不審なメッセージやリンクに対する警戒心の持ち方などについても講座に盛り込めるよう、内容の充実を検討しております。

問、学校での対応を問う

答、インターネットを通じたいじめの防止には、児童生徒がネット上の情報や事象を正しく理解し、それを適切に判断、運用できる能力である「ネット・リテラシー」の育成が欠かせません。道徳や学級活動、学校の技術科等の時間には、情報通信ネットワークの仕組みや安全に利用するための情報モラルや情報セキュリティについて学習しています。また、警察や企業等と連携した「スマホ安全教室」を保護者参観で実施したり、生徒会活動でSNSの使い方を「SNS宣言」として発信し、啓発に努めている中学校もあります。

このようなことから、授業での学びはもちろん、保護者や関係機関と連携しながら児童生徒の「ネット・リテラシー」の向上に取り組むとともに、ネットを通じたいじめの未然防止に取り

組んでまいります。

近江長岡駅無人化を問う

答、これまで、JR東海からの事前説明もなく、また、この件は社内での決定事項であるとの説明も受けました。来年2月からJR東海が導入されるお客様サポートサービスは、券売機横にモニター付きインターホンが設置され、遠隔地の案内センターからオペレーターが切符販売などの窓口対応を行うものです。これに対して、市としては、駅利用者への広報を徹底するよう要望したところでした。

問、醒ヶ井、柏原駅の対応は

答、無人駅である醒ヶ井駅と柏原駅について、駅の利便性向上を図るために、シルバー人材センターに乗車券発売業務を委託しており、変更はかんがえておりません。

問、駅周辺の環境悪化は

答、近江長岡交番が二十四時間体制で運用を始めておりますので、パトロールの強化など、警察と連携して治安の維持に努めてまいります。



藤田議員の一般質問